

(公明党)

議第 208 号及び議第 209 号に対する付帯決議 (案)

京都市において国民健康保険料の引き上げが避けられない状況となっていることについては、制度の持続可能性の確保という観点から一定の理解を示すものである。しかしながら、昨今の物価高騰や経済状況の悪化により、市民の生活は一層厳しさを増しており、国民健康保険料の引き上げは被保険者に少なからず影響を及ぼすものである。

こうした状況を踏まえ、本市として、被保険者である市民の経済的負担軽減を国保の重要課題と位置づけ、府および国に対し、財政支援の拡充と制度の抜本的な見直しを引き続き強く要望していくことを求める。